

狭山市 学校支援ボランティアセンター の取組

(略称) *SSVC*

(School Support Volunteer Center)

狭山市学校支援ボランティアセンター
センター長 諸井 寿夫

本日の事例発表の要旨

= 狭山市には、住民と協働で進めている
シニアの学びの場があり
そこで学んだ知識や今までの経験を
地域社会に還元するという理念を生かして
多くのシニアが
子どもたちから元気をもらい
活動している
学校支援ボランティアの紹介です =

○狭山市は・・

・都心より特急小江戸号で 35分

・再開発完了の狭山市駅、スカイテラスの眺め

・埼玉県内トップの製造品出荷額を誇る
工業都市（多くのグローバル企業がある）

・人口・・15万5千人ほど

・自然豊かな街、狭山茶は有名



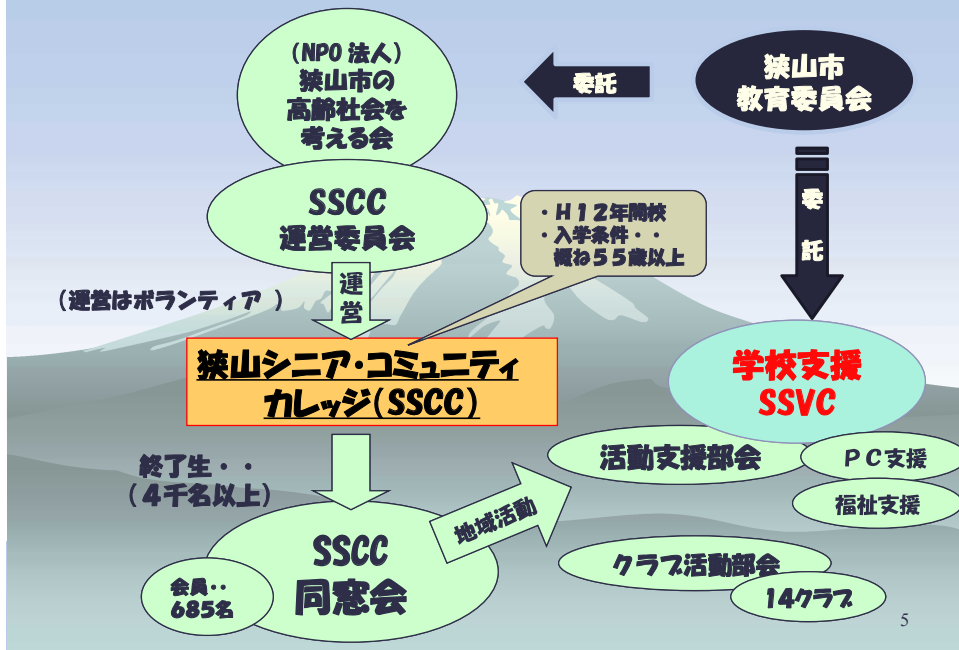
この狭山市には、シニアのための生涯学習の場がある

高齢者の生きがいづくり
の観点から生まれた
狭山シニア・コミュニティ・カレッジ(SSCC)
という学びの場がある

このカレッジの大きな特徴は……
仲間との出会いとそこで得た知識や今までの経験
を活かして、引き続き社会の一員として、
地域で活躍(貢献)することが目的である

(平成12年の開校時より、事業の目的が明確)

コミュニティー・カレッジ(SSCC)と地域活動との関係



狭山シニア・コミュニティ・カレッジ(SSCC)の概要

- ・今期(H24年度)・・・受講生305名の入学
- ・開講学科・・・8学科 (生きがい、PC、ジャーナル 歴史研究、英会話など)

英会話授業

- ・SSCC運営委員会・・・運営の決議機関、課題の討議 (月度開催) 募集要項作成、広報、説明会など

- ・各学科の運営・・・学科リーダー、スタッフが講師の補助
- ・学校行事の企画、運営・・・入学式、体育祭、文化祭、修了式

ボランティア
60名ほど





学校支援活動が始まった経緯・・・

カレッジ修了生は、SSCC同窓会に入会することが基本

・H15年10月 このボランティア有志の活動により、校長会、学校を訪問、アンケート調査などで主旨を説明するが 学校側は、**閉鎖的である**

・H16年4月 学力向上フロンティアスクール事業 の指定校と目的が一致する（文科省施策・・・習熟度の程度に応じた生徒指導） **（学校支援の第一歩が始まる）**

・H18年1月 支援校が拡大してくると・・・要員の確保・養成連絡、調整、事務処理の円滑な運営が必要・・・**学校支援センターとして、支援拠点を設置**

・H19年4月 この市民のボランティア活動の先駆性が行政から、高い評価を受けて、**狭山市学校支援ボランティアセンター（SSVC）**として、業務委託 がスタートする

●SSVCの概要

(School Support Volunteer Center)

(事業経費一予算70万円)



名 称 「狭山市学校支援ボランティアセンター」

事務所 狭山市狭山台 4-26

狭山台中学校南棟2F教室

専用電話&FAX 04-2927-1395

E-mail: sayama-ssvc@bd.wakwak.com

組 織

センター長 1名 副センター長 1名

事務局長 1名

センター事務局に専任事務員を置く
(毎週月・火・金13時～16時勤務)

運営委員とスタッフ 若干名

会計 1名(運営委員兼務)

会計監査 2名(同窓会監査役に委嘱)

9

SSVC・事務室

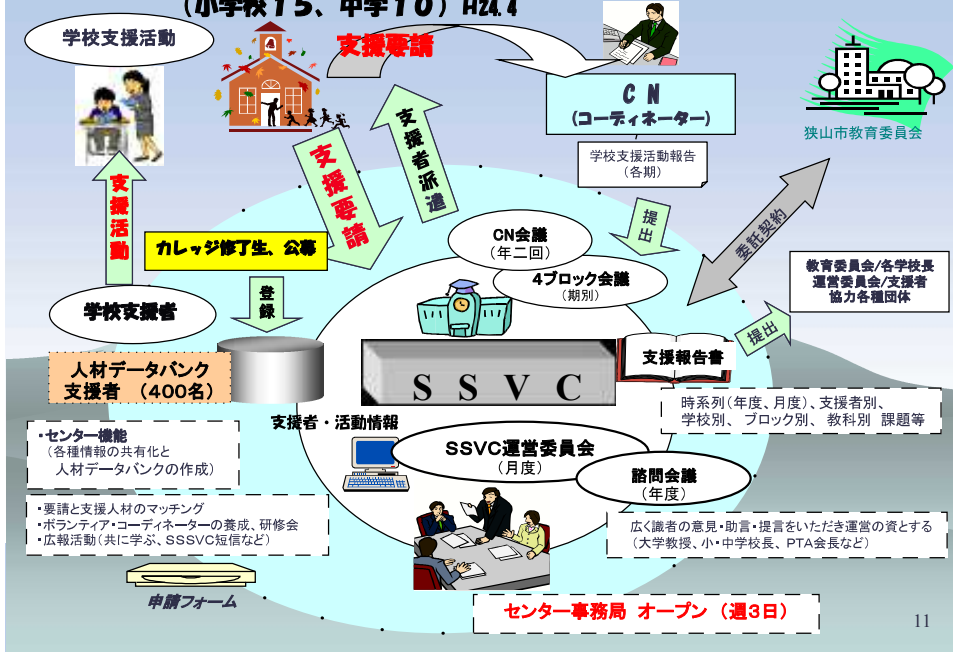


専任事務員
月、火、金曜日
13時～16時 相談窓口対応



狭山市学校支援ボランティアセンター(SSVC) 運営の概要

(小学校 15、中学 10) H24.4



ICTの活用による情報発信と共有化

- ・情報の集中管理、保管(会議議事録など)・・・サーバーに管理保管
 - ・**人材データベース**など 誰もがどこでも検索できる ... (ID、PWで情報保護)
- ・関係者への情報発信、収集の基本は、電子情報(Eメールなど)を駆使
- ・一般市民のアクセスは、市の公式HP、ポータルサイトなど・・・応募、要請など



幅広い層に「共に学ぶ」、SSVC関係者に「短信」情報発信

共に学ぶ

熊山市学校支援ボランティアセンター (SSVC)

「共に学ぶ」は、熊山市内の小・中学校で、ボランティアが活躍する場です。ボランティアは、学校の先生や保護者のサポートとして、授業補助や行事支援、学習指導などを行っています。また、ボランティアは、学校の先生や保護者から感謝状や表彰状を受け、活動の励みになります。

ボランティアの募集は、熊山市教育センターで行われます。詳しくは、熊山市教育センターまでお問い合わせください。

熊山市教育センター
〒951-8501 熊山市中央1-1-1
TEL: 096-2527-1388
E-mail: ssvc@ssvc.km.kyushu-u.ac.jp

SSVC学校支援ボランティア短信 41号

発行日：学校支援ボランティアセンター (SSVC)
熊山市教育センター (SSVC)
TEL: 096-2527-1388 E-mail: ssvc@ssvc.km.kyushu-u.ac.jp

会費と活動費について

会費は、ボランティア活動の経費として、毎月100円を徴収しています。活動費は、ボランティア活動の経費として、毎月100円を徴収しています。

活動内容

ボランティア活動の内容は、学校の先生や保護者のサポートとして、授業補助や行事支援、学習指導などを行っています。

活動の場

ボランティア活動の場は、熊山市内の小・中学校です。

活動の時間

ボランティア活動の時間は、学校の授業時間や行事の時間です。

活動の人数

ボランティア活動の人数は、学校の先生や保護者のサポートとして、1名から数名までです。

活動の資格

ボランティア活動の資格は、熊山市教育センターで発行されるボランティア活動証明書です。

活動の報酬

ボランティア活動の報酬は、熊山市教育センターで発行されるボランティア活動証明書です。

活動の問い合わせ先

熊山市教育センター
〒951-8501 熊山市中央1-1-1
TEL: 096-2527-1388
E-mail: ssvc@ssvc.km.kyushu-u.ac.jp

SSVC運営委員会・・・(月度定例開催)

- 決議機関・・・各学校の要請事項、研修会開催
人材バンクの運営、広報等各領域別の課題を討議
(教育委員会所管部署、同窓会役員も出席)



SSVCコーディネーター会議

- ◆全体会議・(1学期末、3学期末)・年2回開催
各学校現場の状況、課題を発表
教育指導課にも出席いただき学校の現状、課題共有
- ◆ブロック会議・4ブロックに分け、より実践的・各学期毎開催
地区別に支援者同士の懇親のイベントも実施



15

平成23年度の活動支援実績

扶山市立の小学校15校、中学校10校で、297人のボランティア支援者が8,361時間の学校支援活動をしました

小・中学校合計の支援時間



中学校の支援

89人の支援者が、3,631時間の支援活動
＜科目別の支援時間構成＞
・支援時間では英語・数学で68%を占めています。



小学校の支援

208人の支援者が、4,730時間の支援活動
＜支援内容別の時間構成＞
・支援時間では理科・算数支援で64%を占めています。



16